

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 19 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 7 月 22 日 作成

事務事業名		乳幼児健診事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中山 輝一郎
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	田野 恵子
	基本事業	43	病気になる生活習慣の確立			所属班	健康推進班	(内線)	2169
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	5
		1	4	1	6	10358		コスト削減優先度評価結果	9
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 1 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・健診を実施し、乳幼児の健康の保持及び増進を行なう。内容は、問診・身体計測・歯科健診・内科健診・栄養相談(乳児健診では、離乳食試食)・歯科相談・保健相談・希望者へのフッ化物塗布・専門相談員による発達相談・健診後のフォロー・未受診者のフォロー等。健診スタッフの確保・連絡調整。 ・昭和40年公布された母子保健法の施行により、乳幼児の健康の保持・増進を図るために開始した。 ・出生数の増加に伴い対象者数が年々増加しており、健診1回あたりの対象者数が多く、待ち時間が長くなっている。また専門スタッフの確保も難しくなっている。市町村保健師での情報交換や勉強会を実施しており、保健師としての質の向上に努めている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	健診スタッフ(医師・歯科医師・看護師・保健師・歯科衛生士・栄養士・心理相談員)の確保及び契約書・臨時任用通知書を作成し、契約を結ぶ。年間出勤予定表を調整し作成、場所の確保を行なう。健診対象者名簿を打ち出し、対象者へ通知を郵送。日程は健康づくり事業計画表・広報誌に掲載し周知を図る。健診会場の準備。健診材料の発注及び支払い事務。健診を実施し、終了後ミーティングを行なう。健診スタッフへの支払い事務。
【主な予算費目】	報酬、賃金、旅費、需用費、役務費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	話を聞いてもらい、アドバイスを受け不安が解消された、安心できた、待ち時間が長かった、診察で医師の言葉に傷ついたなどの意見がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)
4カ月児健診12回×1ヶ所、11回×1カ所 7カ月児健診12回×1ヶ所、11回×1カ所 1歳6カ月児健診12回×2カ所 3歳児健診12回×2カ所	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
	4カ月児健診12回×2カ所 7カ月児健診12回×2カ所 1歳6カ月児健診12回×2カ所 3歳児健診12回×2カ所
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア 受診者数	人
	回数
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標
合志市民該当児	(単位)
	⇒ア 合志市民該当児
	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標
健康を保持し、健やかに発育発達できる。	(単位)
	⇒ア 健診受診率
	%
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
健診を受診することで、乳幼児の健康の増進を図ることになり、本事業の意図へとつながるため成果の指標とする。健診を受けられる体制を維持し、受診率が低下しないよう働きかけていく必要がある。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 人		2,372	2,272	2,390	2,358	2,450	2,450	2,450
	イ 回		96		96	96	96	96	96
⑤ 対象指標	ア 人		2,512	2,352	2,450	2,433	2,500	2,500	2,500
	イ								
⑥ 成果指標	ア %		94	97	98	97	98	98	98
	イ								
投資入量	国庫支出金	千円			365	384	388	388	388
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	15,473	8,193	7,835	7,849	7,900	7,900	7,900
	(A) 事業費計	千円	15,473	8,193	8,200	8,233	8,288	8,288	8,288
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	2	7	2	9	9	9	9
	延べ業務時間	時間	1,032	2,256	1,044	2,730	2,000	2,000	2,000
	(B)人件費計	千円	4,097	9,024	4,155	10,865	7,960	7,960	7,960
トータルコスト(A)+(B)		千円	19,570	17,217	12,355	19,098	16,248	16,248	16,248

総トータルコスト	全体計画
～	年度
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

合志市

事務事業名	乳幼児健診事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>専門スタッフの協力により予定通り実施できた。今後も受診率の向上を目指して受診勧奨を行っていく必要がある。健診後フォローにかかる時間が増加している。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>健診後フォローにかかる時間の増加に伴い、健診に関わる事務的な部分での処理を迅速に行うために事務補助員を確保する。 未受診者への連絡を行い、児の発育発達の確認していく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△		低下			△
				コスト																			
削減			維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持			△																			
	低下			△																			
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>事務補助員の確保。 未受診者への連絡を電話・訪問・手紙などで行っていく。</p>																							